

都市再生整備計画(第2回変更)

とうべつさいわいちよう
当別幸町地区

北海道 とうべつちよう
当別町

平成20年 3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	北海道	市町村名	とうべつちよう 当別町	地区名	とうべつさいわいちよう 当別幸町地区	面積	5.7 ha
計画期間	平成	16	年度	～	平成	19	年度
交付期間	平成	16	年度	～	平成	19	年度

目標	住民が彩るシンボルロードを中心とした安全で安心な“まちづくり”
----	---------------------------------

目標設定の根拠	<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町はJR石狩当別駅を起点として中心市街地が形成されているが、交通の連結が悪く街路等の基盤整備水準が遅れている状況である。 ・本地区は、JR石狩当別駅から南方約500mに位置し、地区中央を道道岩見沢石狩線が縦断しているほか、地区北端ではその道道岩見沢石狩線を挟み道道石狩当別停車場線と道道札幌当別線が接続する交通の要所となっている。 ・住宅地にあつては河川敷地を含め行き止まりの私道や未整備の狭い私道が入り組み、袋地状に住宅が密集し、災害時における防災活動に支障を来している状況にあり、現状のままではこれ以上の地域の発展が望めない状態である。 ・町民が誇りを持って快適に暮らせる美しいまちの実現を目指しており、具体化するための施策を進めている。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路沿いには既に住宅、事務所、商店等が密集し、住宅地にあつては河川敷地を含め行き止まり私道や未整備の狭い私道等が入り組み、袋地の宅地も多く、建物の老朽化、道路網の整備の遅れ、災害時における防災活動に支障をきたすため交通環境の整備が急務である。 ・道道岩見沢石狩線が本地区内で直角に折れ、それに町道2路線が接続するという変則的な交差点を形成しており、変則交差点の解消とともに交差点周辺の安全確保が必要とされている。 ・市街地中心部への来訪者にとって迷路的な道路網であることから、基軸となる幹線道路網の整備が急務である。 <p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>○中心市街地への玄関口として、シンボルロードを軸とした、人が訪れ、自然と調和し、美しい環境と魅力あふれた活力あるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町第4次総合計画では、都市計画の主要施策として、土地区画整理事業と街路事業の整備を推進しながら、良好な都市空間の形成に努めることとし、本地区においては土地区画整理事業を実施して、魅力ある空間形成を図るべき位置づけられている。 ・当別町都市計画マスタープランでは面的整備の導入により中心部のゲート空間の形成を図るべき地区として位置づけられている。 ・「美しいまち当別をみんなでつくる条例」を制定しており、住民一人ひとりが環境に配慮しながら身近な景観づくりに取り組むことで、当別の付加価値を高め、心地よく・快適で・心豊かに・誇りをもって暮らすことができるまちの実現を目指す。
---------	--

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 緊急車両等の通行困難道路延長	m	当地区内において消防車、救急車等の通行困難な幅員6m以下の道路の延長	緊急車両の通行と避難路の確保等により安全・安心な住宅地の形成	220	平成15年度	0	平成19年度
2. 交通事故件数	件/年	地区周辺における交通事故件数	不連続な歩道及び変則交差点等による道路形状の不備が交通安全面で大きな問題となっていることから、交通事故件数の半減を目指す。	44	平成15年度	22	平成19年度
3. 街路植樹樹への植花のための住民参加数	人	シンボルロードである当別大通に整備する植樹樹に花卉等を植える住民参加数	住民の自主的なまちづくり活動により生活環境の向上と継続性のあるコミュニティ形成の推進を図り、まち全体のイメージアップを図る。	0	平成15年度	50	平成19年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(安全で安心できる既存市街地の再編)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い町並みを形成するための道路網と、より良い生活環境の向上に向け既存市街地を再編する。 	<p>土地区画整理事業(基幹事業)、高質空間形成施設(基幹事業/緑化施設等)、下水道整備事業(提案事業)、宅地造成事業(提案事業)</p>
<p>整備方針2(街路等の整備改善と交通アクセス、交通安全の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地へのアクセスを簡明にし、街路等の基盤整備水準を向上させるとともに、不規則な交差点を解消し、交通渋滞の緩和や交通事故の減少を目的とした幅員2.5mの都市計画道路(当別大通)を整備する。 	<p>土地区画整理事業(基幹事業)、高質空間形成施設(基幹事業/緑化施設等)、当別幸町土地区画整理事業(関連事業)</p>
<p>整備方針3(景観に配慮した住民参加のコミュニティー形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記都市計画道路をシンボルロードとし、この道路を中心とした駅前から続く歩道等のグレードアップを図る。 ・中心市街地の玄関口であることから、まち全体のイメージアップを図るためにも快適で魅力ある生活空間を整備する。 ・住民の自主的な“まちづくり活動”により生活環境の向上と継続性のあるコミュニティー形成を図る。 	<p>土地区画整理事業(基幹事業)、高質空間形成施設(基幹事業/緑化施設等)、宅地造成事業(提案事業)、当別幸町土地区画整理事業(関連事業)、美しいまちづくり事業(関連事業)</p>
<p>その他</p> <p>○「美しいまち当別をみんなでつくる条例」を平成14年に制定しており、本年度から住民参加を基本に条例を実現するためのアクションプランやルールづくりなどのための基本方針の策定に着手しており、まず手始めに、先に完成した3・3・1当別大通(駅前～中央通間)の植樹樹へ花卉を植えるなど、地域振興会等が中心となって活動をする予定である。また、この活動は、順次整備する当別大通についても継続し、道路沿道に生活する住民みずからがシンボルロードとなる当別大通を彩り、住民みずからが景観に配慮した“まちづくり”を目指すこととしてい</p> <p>○交通事故件数については、警察から聴取した、本地区を含む周辺地区の人身及び物損事故件数である。(幸町、弥生、末広)</p> <p>○植花の参加者数については、当別大通(駅前～本地区)沿道に今後張り付き植花に参加が予定される人・戸数(当別大通沿道戸数×1人)</p>	

